記載例

様式第六（第八条関係）

特定施設設置届出書

年　　月　　日

伊勢崎市長　様

申請者　　住　　所　**伊勢崎市〇〇町□□□**

電話番号　　〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

氏名・名称　**伊勢崎市㈱**

代表者　**代表取締役　伊勢崎　太郎**

下水道法第12条の3第1項（下水道法第25条の30第1項において準用する同法第12条の3第1項）の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	**伊勢崎市㈱ △△△生産工場**	※整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地	**伊勢崎市〇〇町□□□**	※受理年月日	年　月　日
特定施設の種類	**（例）第６５・６６号**	※施 設 番 号	
△特定施設の構造	**別紙１のとおり。**	※審 査 結 果	
△特定施設の使用の方法	**別紙２のとおり。**	※備　　考	
△汚水の処理の方法	**別紙３のとおり。**		
△下水の量及び水質	**別紙４のとおり。**		
△用水及び排水の系統	**別紙５のとおり。**		

備考　1　△印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
　　2　※印の欄には、記載しないこと。
　　3　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格Ａ４とすること。

別紙１

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	００１	００２	００３
特定施設号番号及び名称	６５号 酸又はアルカリによる表面処理施設	同左	６６号 電気めっき施設
型　　式	ＩＲ－５型 （半自動型）	同左	ＩＰ－６ 自動メッキ施設 （全自動型）
構　　造	鉄フレーム 塩化ビニール製 耐薬品仕上げ	同左	同左
主要寸法	Ｌ　１８００　mm Ｗ　　８００　mm Ｈ　１８００　mm	同左	Ｌ　７０００　mm Ｗ　１３００　mm Ｈ　１８００　mm
能　　力	プリント基板 １０００　個/日	同左	プリント基板 ２０００　個/日
配　　置	別添図面第１のとおり	同左	同左
設置年月日	年　　月　　日	年　　月　　日	年　　月　　日
工事着手予定年月日	○年　○月　○日	○年　○月　○日	○年　○月　○日
工事完成予定年月日	○年　○月　○日	○年　○月　○日	○年　○月　○日
使用開始予定年月日	○年　○月　○日	○年　○月　○日	○年　○月　○日
その他参考となるべき事項	平成○○年○月○日に、当該届出の場所に工場を新設したい。	同左	同左

備考　配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

別紙２

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	００１、００２	００３
特定施設号番号及び名称	６５号 酸又はアルカリによる表面処理施設	６６号 電気めっき施設
設置場所	別添図面第１のとおり	同左
操業の系統	別添図面第２のとおり	同左
使用時間間隔	８：００～１２：００ １３：００～１８：００	８：００～１２：００ １３：００～１７：００
１日当たりの使用時間	９時間	８時間
使用の季節的変動	なし	なし
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び１日当たりの使用量	原材料名：硫酸 使用方法：10%溶液として塗膜除去。 使 用 量：原液（98%）として50 l/日	原材料名：①トリクロロエチレン ②青酸ソーダ ③塩化亜鉛 ④クロム酸 使用方法：①原液のまま脱脂剤として使用。 ②～④については、1%水溶液として、メッキ剤として使用。 使 用 量：① 原液10 l/日 ② 10 kg/日 ③ 5 kg/日 ④ 2 kg/日

汚水等の汚染状態 種類・項目	通常	最大	通常	最大
pH	1～2	2	1～2	2
BOD	80	100	20	30
SS	2000	2500	800	900
n-hex抽出物質含有量	10	15	3	5
銅含有量	20	30	20	30
亜鉛含有量	20	30	20	30
溶解性鉄含有量	16	20	16	20
クロム含有量			18	25
シアン化合物			20	250
六価クロム化合物			1	2
トリクロロエチレン			0.5	1
	※単位：pH（無単位）	大腸菌群数（個/cm³）	それ以外のものはmg/l	

汚水等の量（m^3／日）	通常	最大	通常	最大
	５０	６０	３０	４０

その他参考となるべき事項	・毎日、運転前に施設の点検を行う。 ・薬液の交換は、２回/月程度 ・廃液は中和処理して、排水処理施設へ排出。	○有害物質使用特定施設 ・同左 ・薬液の交換は、１回/月程度 ・トリクロロエチレンは全量回収で業者委託処分。 ・他は、排水処理施設へ排出

備考　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙３－１

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	１ 酸アルカリ系排水処理施設	２ メッキ排水処理施設
処理施設の設置場所	別添図面第３のとおり	別添図面第３のとおり
設置年月日	年　月　日	年　月　日
工事着手予定年月日	○年　○月　○日	○年　○月　○日
工事完成予定年月日	○年　○月　○日	○年　○月　○日
使用開始予定年月日	○年　○月　○日	○年　○月　○日
種類及び型式	ＰＭ−８０型バッチ式排水処理施設	ＶＧ−４０型バッチ式排水処理施設
構造	鉄筋コンクリート製	同左
主要寸法	Ｌ ９０００ mm Ｗ ８０００ mm Ｈ ３０００ mm	Ｌ ８５００ mm Ｗ ７５００ mm Ｈ ３０００ mm
能力	８０ m^3/日	４０ m^3/日
処理の方式	中和・凝集沈殿	イオン中和・凝集沈殿
処理の系統	別添図面４のとおり	別添図面４のとおり
集水及び導水の方法	別添図面５のとおり	別添図面５のとおり
使用時間間隔	８：００～２０：００	８：００～２０：００
１日当たりの使用時間	１２時間	１２時間
使用の季節変動	なし	なし
消耗資材の１日当たりの用途別使用量	硫酸（pH調整）原液60 l/日 水酸化ナトリウム（pH調整）原液40 l/日 高分子凝集剤（凝集剤）1 kg/日	次亜塩素酸Na（シアン分解）原液50 l/日 硫酸（pH調整）原液100 l/日 塩化第二鉄（凝集剤）5 kg/日 高分子凝集剤（凝集剤） 1 kg/日 亜硫酸Na（クロム還元）5 kg/日 イオン交換樹脂（ｲｵﾝ交換）交換月1回 30 kg

汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	1～2	7.0	2	7.5	1～2	7.0	2	7.5
	BOD	80	10	100	15	20	10	30	15
	SS	2000	20	2500	30	800	20	900	30
	n-hex抽出物質含有量	10	1	15	2	3	1	5	3
	銅含有量	20	1.0	30	2.0	20	1.0	30	2.0
	亜鉛含有量	20	0.7	30	1.5	20	0.7	30	1.5
	溶解性鉄含有量	16	2.0	20	3.0	16	2.0	20	3.0
	クロム含有量					18	1.0	25	2.0
	シアン化合物					20	ND	250	0.5
	六価クロム化合物					1	ND	2	0.2
	トリクロロエチレン					0.5	ND	1	0.1
	量（m^3/日）	５０	５０	６０	６０	３０	３０	４０	４０

残さの種類、１月間の種類別生成量及び処理方法	金属沈殿物 2t/月 業者委託処理（○○産業）	・金属沈殿物 1t/月 業者委託処理（○○産業） ・トリクロロエチレン（2.5%含有）0.2t/日 業者委託処理（○○化学）
排出水の排出方法	別添図面第６のとおり	別添図面第６のとおり
その他参考となるべき事項	㈱○○メンテナンスに運転管理委託（２回/月） TEL：０２７０―○○○○―○○○○	

備考　１　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

２　排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙３－２

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	３ 生活系排水処理施設	
処理施設の設置場所	別添図面第〇のとおり	
設置年月日	○年　○月　○日	
工事着手予定年月日	年　月　日	
工事完成予定年月日	年　月　日	
使用開始予定年月日	年　月　日	
種類及び型式	ＥＭ－２０型合併処理浄化槽	
構造	ＦＲＰ製	
主要寸法	Ｌ ４０００ mm Ｗ ３０００ mm Ｈ ２０００ mm	
能力	２０ m^3/日	
処理の方式	活性汚泥	
処理の系統	別添図面〇のとおり	
集水及び導水の方法	別添図面〇のとおり	
使用時間間隔	０：００～２４：００	
１日当たりの使用時間	２４時間	
使用の季節変動	なし	
消耗資材の１日当たりの用途別使用量	次亜塩素酸カルシウム ３ kg/日	

汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	6～9	7.0	9	7.5				
	BOD	60	15	80	20				
	SS	80	20	90	25				
	n-hex抽出物質含有量	8	5	10	5				
	大腸菌群数	8000	500	10000	1000				
	量（m^3/日）	１０	１０	１５	１５				

残さの種類、１月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥 余剰汚泥　1t/月 含油汚泥（油水分離槽）０．５t/月 業者委託処理（〇〇産業）
排出水の排出方法	別添図面第６のとおり
その他参考となるべき事項	○○整備㈱に運転管理委託 （２回/月）Tel：0270-〇〇〇〇-〇〇〇〇

備考　１　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

２　排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙４

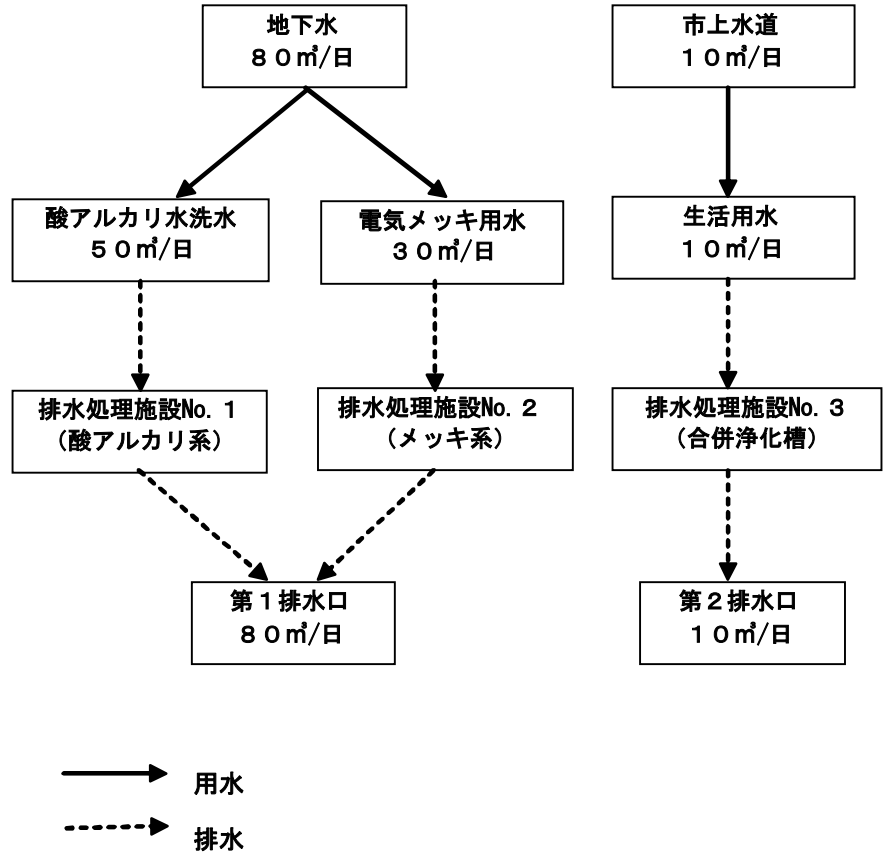
下水の量及び水質

工場又は事業場における施設番号		第１排水口（生産系）		第２排水口（生活排水）	
排出水の汚染状態	種類・項目	通　常	最　大	通　常	最　大
	ｐＨ	７．０	７．５	７．０	７．５
	ＢＯＤ	１０	１５	１５	２０
	ＳＳ	２０	３０	３０	２５
	n-hex抽出物質含有量	１	２	５	５
	窒素含有量	３０	６０	３０	６０
	りん含有量	４	８	４	８
	銅含有量	１．０	２．０		
	大腸菌群数			０	１０００
	亜鉛含有量	０．５	１．５		
	溶解性鉄含有量	２．０	３．０		
	クロム含有量	０．５	１．０		
	シアン化合物	ＮＤ	０．５		
	六価クロム化合物	ＮＤ	０．２		
	トリクロロエチレン	ＮＤ	０．１		
排出水の量（m^3／日）		通　常	最　大	通　常	最　大
		８０	１００	１０	１５
その他参考となるべき事項					

備考　排出水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙５

用水及び排水の系統

用水及び排水の系統	

	用　　途	使　　用　　水	用水使用量（m^3／日）
用　途　別 用水使用量	**酸アルカリ水洗水**	**地下水**	**５０㎥/日**
	電気メッキ用水	**地下水**	**３０㎥/日**
	生活用水	**水道水**	**１０㎥/日**